

# こどもの城 ニュース

## KODOMO NO SIRO NEWS

2001・4・15 No. 115 発行/(こどもの城)広報部 ☎03-3797-5674  
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1



### HATURATU はつらつ

「ハイ！」ほくたちはオーストラリアのシドニー郊外の小学生です。日本語が学べるクラスもあって、昨年のオリンピックでは日本選手団の前で、君が代を合唱したんだよ。  
教室には「鉄腕アトム」のマンガや書道の作品がかざられていて、ほくらの夢は「北半球の日本に行きたい!!」  
授業は厳しく、私語でもまじわれば先生にきつくしかられるの。だから休み時間は校庭でおおいにもりあがるんだ。  
(写真・文=平早 勉)

## “遊びのボランティア”って???

【こどもの城】では、さまざまな場面で活躍しています

今年「ボランティア国際年」。ボランティアへの理解を深め、その活動をさかんにするなどのために世界中でさまざまな取り組みが行われています。  
“ボランティア”は、福祉(障害をもった人への介助など)、災害(救援活動など)、地域(子ども会など)、環境(自然を守る活動など)など、私たちのくらしのさまざまな場面で活動しています。人と人、人と自然がともに生きるために、それぞれがもっている力を少しずつだしあって、よりよい社会を作ろうとしているのです。  
【こどもの城】には、子どもたちの「あそび」をサポートする“遊びのボランティア”がいます。

### ■子どもの“遊び”をサポート■

【こどもの城】のように、初めて出会った子どもたちがいっしょになって遊ぶ施設では、遊びの輪を作ること、きがるに遊びの輪に入って遊ぶことができる環境を作ることがたいせつです。集まってくる子どもたちの年齢も違えば、ふだんしている遊びも異なります。活発な子もいれば、ひっこみじあんの子もいます。いろいろな子どもたちが、楽しくうちとけて遊べるようにサポートしているのが、“遊びのボランティア”のお兄さん、お姉さんたち。声をかけて遊びの輪にさそったり、遊び方を教えてくれます。



▲3月20・24・25日に、ボランティアが企画・実施した「発見! あそびの宝島」を行いました。

「あそび」がもりあがってくると、子どもたちの間から「ほくたちは、こんな遊び方をしているよ」という意見もでてきます。「どんな遊び方? みんなもやってみようか。みんなに遊び方を説明してくれる」「いいよ!」— 子どもたちが主役となった遊びがくりひろげられるようになります。  
子どもたちの遊んでいるようすをみながら、あるときは“がき大将”のように、あるときは子ども自身が遊びをひっぱっていくようにサポートしています。



### ■遊びを作って、子どもたちと楽しむ■

春休みなどには、ボランティアが企画から準備・運営まで担当する大型のイベント「チャレンジゲーム」を行っています。ボランティアが遊びを作って、子どもたちに楽しんでもらう活動です。また、【こどもの城】のスタッフが基本プランを考え、具体的な遊びをボランティアといっしょに作る大型イベント(ゴールデンウィークや夏休みの大型イベントなど)もあります。  
このほかにも、キャンプなどの野外活動で子どものグループを担当する班付きリーダーや運営を支える本部リーダーとして活動したり、【こどもの城】のさまざまな部門のプログラム(日常活動、講座・クラブ)で活動しています。

### ■“いろいろな人とふれあう”機会に■

小川能男プレイ事業部長の話  
【こどもの城】には、大学生から70代の女性まで、年齢も、個性も、もっている知識や知恵も、積んできた社会経験もいろいろなボランティアがいます。このことは、施設にとっても、遊びにくる子どもたちにと



### ■ボランティアの“遊びの経験”生かす■

こま回しやお手玉、折り紙などの“昔遊び”は、今の大人(お父さん、お母さん、おじいさん、おばあさん)が子どものころに親しんだ遊びです。  
とくに、社会経験の豊富な【こどもの城】の女性ボランティア(おおむね30歳以上の女性)は、若い人が知らない遊びを知っています。子どもの遊びは、住んでる所によって少しずつ異なることが多いので、お手玉ひとつをとっても、いろいろな遊び方ができます。ボランティアの“経験”を生かし、遊びのプログラムを豊かにすることができます。

日本・ノルウェー友好こども絵画展開く  
ノルウェーのソニア王妃から  
4人の小学生に表彰状  
国賓として来日中のノルウェーのソニア王妃が、皇后陛下とご一緒した【こどもの城】を訪れ、3月26日に行われた「日本・ノルウェー友好こども絵画展」に出席し、「日本・ノルウェー友好・セレモニ」にて出席。王妃から日本側の4人の表彰者に表彰状が授与されました。



### ■人形劇・パネルシアターなども上演■

絵本の読み語り、人形劇、パネルシアター、紙芝居— 見たり、聞いたりして楽しむ遊びもいっぱいあります。ボランティアのみなさんは、少しでもよいプログラムが提供できるように練習をかかれています。  
ボランティアの人形劇などには、家族のだれかが読んだり、話してくれたらしたときの“あたたかさ”があります。「おはなし」の楽しさを伝えるだけでなく、人と人とのふれあいや出会いの場をつくりだすために、ボランティアの力はかかせません。



このやびーとーまれっ!  
ひとりよりふたり、ふたりより三人 みんなが集まれば、楽しさも大きくなります。

2001  
ゴールデンウィーク特別期間  
4月28日(土)~5月6日(日)

5月1・7・8日は休館させていただきます。  
開館時間 10:00~5:30(5月2日12:30~5:30)  
入館料 小学生以下400円(3歳以下180円未満) おとな500円

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1  
☎03-3797-5666 ☎03-3797-5676  
http://www.kodomonosiro.or.jp/

5月5日のこどもの日は、18歳未満の入館は無料です。

っても重要な意味をもっています。自分たちと違うものの見方や考え方に接する機会になるからです。施設側にとっては活動内容を考えたり、見直したりするときの“別の視点”として生かすことができるし、子どもたちにとっては遊びをとおして“いろいろな人とふれあう”の機会になるわけです。  
また、ひとり一人個性をもった子どもたちがたくさん遊びに来るので、スタッフだけではきめこまかな対応が不可能です。そんなときに、ボランティアが力を発揮してくれまます。【こどもの城】のような施設にとって、ボランティアはなくてはならないものです。  
ボランティアも、子どもとのふれあいをとおして、刺激を受けたり、新しい体験をしたり— 子どもからいろいろな“もの”を受け取っています。

子どもたちは元気でいいな—

走るだけで骨が折れるなんて…カルシウムが不足してるんだ

じゃあ、どうすればいいの!!

それなら大丈夫! 「スキムミルク」があるよ!

みんなも骨ケアしよう!!

●栄養に優れた優良食品「スキムミルク」

「スキムミルク」は、健康づくり食品として注目されています。それは、牛乳から乳脂肪(バター)を取り除いているので、動物性脂肪が極めて少なく、低カロリーで、良質の「たんぱく質」「カルシウム」「ビタミンB<sub>2</sub>」が多く含まれており、カルシウムの吸収率が非常に高い食品です。

スキムミルク	200g	286mg
スルメ	200g	0.62mg
スキムミルク	200g	0.3mg
スキムミルク	200g	0.2g
スキムミルク	200g	0.2g

たんぱく質 乳脂肪 カルシウム ビタミンB<sub>2</sub>

TEL03-3591-3245  
財団法人 児童育成協会 児童給食事業部  
〒105-0003 東京都港区西新橋1-1-21 FAX03-3595-2216  
\*児童給食事業部では、ニュージーランドの厳選された新鮮な牛乳から作った「スキムミルク」を無税で輸入し、全国の児童福祉施設に低価格で提供しています。

プレゼント!! 子どもたちに喜ばれる料理法100種類を詳しく紹介したレシピ集「スキムミルククッキング(カラーB5版、100ページ)」を差し上げます。ご希望の方は、児童給食事業部(TEL03-3591-3245)までお問い合わせください。



- ◆ [こどもの城]のゴールデンウィーク(児童福祉週間)特別期間は、4月28日～5月6日。館内のさまざまな場所を使った「冒険ごっこラリー」の「キャスルクエスト 忍者武勇伝～こどもの城の乱～」など、遊びのプログラムがいっぱい。5月5日は、18歳未満の入館料は無料になります。5月1日と7・8日は休館します。

### このゆびと～まれっ!

ゴールデンウィーク(児童福祉週間)特別期間 4月28日～5月6日

- キャスルクエスト 忍者武勇伝～こどもの城の乱～5月3～6日/屋上ふしぎが丘ほか
- ゴールデンウィーク人形劇フェア=4月28～30日/Bスタジオ
- こども歳時記「端午の節句」=5月5日まで/造形スタジオ
- ことばあそびのA☆B☆C=期間中毎日/パソコンルーム
- 鬼ごっこはスポーツの原点だ!～とにかくいろいろ鬼ごっこ～4月28～30日、5月3～6日/体育室
- 新しいプールで泳いでみよう! =4月28～30日、5月3～6日/プール
- うたってハッピー=4月28～30日、5月3～6日/音楽ロビー
- いろいろ楽器コンサート=4月28～30日、5月3～6日/音楽ロビー
- 太鼓がいっぱい「たいこフェスタ!」=5月3～6日/音楽ロビー

※プレイホールの木製大型アスレチック「わくわくらんど」、コンピュータプレイルーム、ビデオライブラリー、屋上遊園・プレイポートなどは通常どおり利用できます。

### 5月4～6日に「こどもフェスティバル」

家族そろって楽しめるパフォーマンスを日替わりで上演する、恒例の「こどもフェスティバル」。時間は①午前11時 ②午後1時30分 ③午後3時30分。入館料のみで入場できますが、会場整理の都合上、当日配布する入場整理券が必要です。

5月4日 愉快なコンサート～古楽器と空想音楽による音と遊びのファンタジー/出演=ロバの音楽座

5月5日 おんがくがスキ!/出演=ガドガド

5月6日 お星さまの色えんぴつ/出演=劇団かかし座



▶太鼓グループの演奏

が体育室で、3月17・18・20日に音楽講座・クラブの合同発表会「ほくらのサウンド2001」が青山円形劇場で行われました。

「たいそう発表会2001」には、ジュニア・シニア新体操と幼児体育3コースの受講生が参加。新体操のロープを使った団体演技では「はずむ心」をテーマに、息の合った演技を披露しました。「ほくらのサウンド2001」は、3日間で5プログラム。エレクトリック・アンサンブル、レッツ・プレイ・サンバ、

リズムムービング、リズムムービング&パーカッション、パーカッション・アンサンブル、おとなのためのリズムムービング、和太鼓グループ、ガムラン講座、こどもの城合唱団(児童合唱と混声合唱)、リトミック、三味線の講座・クラブの子どもたちが練習の成果を発表しました。



▲新体操受講生によるロープの演技

**たいそう発表会2001 講座・クラブの成果を披露 ほくらのサウンド2001**

「こどもの城」の講座・クラブの1年間の活動の成果をみてもらおうと、3月10日に「たいそう発表会2001」児童手当の改正について

**所得制限限度額が6月に引き上げられます(予定)**

小学校に入学する前の子どもを扶養している親などで、所得が限度額以下の場合、児童手当が支給されています(第1子・第2子は5,000円、第3子以降10,000円)。

平成13年6月から、所得制限限度額が引き上げられ、手当を支給できる方が拡大する予定です。限度額は、扶養家族の数や厚生年金に加入しているかなどによって異なります。例えば、扶養家族が3人(妻+子2人)で厚生年金に加入しているサラリーマン帯の場合は、平成12年の所得額が574万円未満(予定)の方が受給できるようになります。

6月分から受給するためには、5月中旬に市区町村の窓口にて「認定請求書」を提出しなければなりません(6～9月分は10月に受け取るようになります)。

以前、児童手当の申請をしたけれど、所得限度額を超えているために受給できなかった方も、今回の拡大により、受給できるかもしれません。詳しくは、居住している市区町村の窓口にお問い合わせください。

**ユースクラブ 個性あふれる「ナガヤ」が完成**

小学5年生～中学3年生を対象とした遊びのクラブ「ユースクラブ」の平成12年度最後の活動「宿泊プログラム」が3月17・18日に行われました。

プレイホールの一角に「長屋」を作り、そこで来館した人といっしょに遊ぼうというプログラム。名付けて「I♥NY(アイ・ラブ・ナガヤ・ユース)」。6畳ほどの広さの家が4軒できあがりました。緑側や秘密の庭

がある家、回転するテーブルがある家、ブラックライトの照明があたる暗い家、とそれぞれのグループが知恵をしぼって考え、力を合わせて作ったナガヤが完成しました。

2日目の午前中には、「こどもの城」に遊びに来た子どもたちをさそって、ままごと遊びやじゃんけん遊びなどを楽しんでいました(写真)。

**shima「風のうた・風のこぼれ」クロマチック・ハーモニカの調べ「マタニティ・コンサート」(5月20日、青山円形劇場)に妊婦さんとその家族を抽選でご招待**

第16回「こどもの城マタニティ・コンサート」～shima「風のうた・風のこぼれ」クロマチック・ハーモニカの調べ～が、5月20日(午後3時開演)に青山円形劇場で開かれます。妊娠すると外に出る機会が減りがちになるお母さんに、たまには劇場にでかけ(できれば夫婦で)、楽しく心うるお音楽を聞いてリフレッシュしてもらおうというもの。

出演は、クロマチック・ハーモニカのshima(小林史真)さん。風そのものの音色でもあるような、美しいハーモニカの調べをおおくりします。

### 宮城県中央児童館 各館のボランティアが集まって「こどもの城」で情報交換

「こどもの城」で活動しているボランティアが情報交換をする「交流会」(2回目)が、3月10・11日に「こどもの城」で行われました。参加したのは、宮城県中央児童館(現・宮城県子ども総合センター)、神戸市総合児童センター「こべっこランド」、さぬきこどもの国(香川県)の3つの館で活動しているボランティア。各館の担当職員とあわせて、15人が参加しました。

1日目は、それぞれの活動状況の紹介と自己紹介。その後、数人ずつのグループに分かれて個別の情報交換を行いました。ボランティアが始めたきっかけ、どんな活動をしているのかなど、初めて顔を合わせたばかりなのに「遊びのボランティア」という共通点があるためか、話はずみでした。

2日目は、「こどもの城」のボランティアの活動(ふしぎが丘でこま回しなどの遊びのプログラム、フリーホールでのパネルシアター)に加わり、実際の活動をおとした交流が行われました。



▲4館のボランティアが集まって情報を交換

各館のボランティアの活動概況は以下のとおり(文責・編集部)。

◆神戸市総合児童センター「こべっこランド」=登録ボランティア数は76人(平成12年度)。大学生が中心。代表、広報、編集、人形劇、アウトドアの各グループがあり、それぞれの代表者で

運営委員会を構成。人形劇、紙芝居、アウトドアは、定例イベントとして行うように、クラブ化をめざしています。平成12年度は、「こべっこランドの夏祭り」など施設内でのイベントをほぼ1回の割合で実施。ほかに、ハイキングなどのアウトドアイベントを4回行いました。

◆宮城県中央児童館=登録しているボランティアは30人ぐらい。ZAB(Zest Amusing Beginning=熱き、楽しい、始まり)というグループ名で活動。月1回程度「寄せ」という話し合いの機会を設けています。児童遊園で遊具を使った遊びや鬼ごっこなどの自由遊び、施設のさまざまな活動をサポートするだけでなく、遊びにきた親子を対象に「おたのしみ児童館」(紙芝居やエプロンシアター、野外遊びや工作など)を自主的に企画・運営しています。

◆さぬきこどもの国=登録しているボランティアは56人。高校生から60代まで。30代以上の方が4割程度を占め、平均年齢は30歳を超えています(平成12年度3月)。美術工房、科学、音楽工房など中心とする活動の分野を決めて、担当スタッフと話し合って年間の活動計画を立てています。利用者に親しまれるボランティアになってほしいと「わくわく」というスタッフネームで活動しています。毎月「わくわく通信」を発行して、メンバーへ情報を提供しています。

### 「全国児童館おりがみ作品展」作品募集

児童館と児童館の交流プログラムの一つとして昨年から開催している「全国児童館おりがみ作品展」が今年も開催されます。日常活動のなかで、子どもといっしょに制作した折り紙作品を募集し、11月に「こどもの城」で展示し、その後は全国各地へ巡回します。

今年のテーマは「未来」。新しい世紀を迎えて、21世紀の地球のすがたを思い描いてください。募集要領は次のとおり。詳しくは、企画研修部内「動くこどもの城事務局」【☎03-3797-5675】までお問い合わせください。

- 作品サイズ=壁面作品 60×60cm、立体作品 60×60cmの基礎面
- 参加対象=児童館・児童センター単位
- 募集作品数=壁面作品・立体作品 各15作品
- 費用=制作費用は参加児童館・児童センター負担。運搬費用は「こどもの城」で負担。
- 応募方法=5月20日から6月末日までに、次の事項を記入のうえ、FAXでお申し込みください。原則として先着順。①児童館名 ②郵便番号・住所 ③電話番号 ④担当者名 ⑤立体・壁面の希望 ⑥日常活動としての折り紙プログラムの有無、その内容
- ※FAXでのお申し込み後、正式のエントリー用紙を送ります。
- お申し込みFAX番号=03-3797-5676



第27回NCC杯ハンバー大会

吉田航也さん(小学生の部) 矢口淳気さん(中学生の部)が優勝

第27回NCC杯ハンバー大会が

3月20日の春分の日に開かれ、小学生と中・高生の部に分かれて熱戦が繰り広げられました。

参加者は、小学生5人、中・高生8人。実力が伯仲したメンバーによる、息詰まるゲームになりました。成績は次のとおり(敬称略)。

【小学生の部】優勝=吉田航也(小5)、準優勝=位高駿夫(小5)

【中・高生の部】優勝=矢口淳気(中2)、準優勝=小高拓也(高3)、3位=大矢雄介(高3)、4位=井上洋市朗(中3)・中村誠(高1)

「子ども」のことを理解しようと中学生が「こどもの城」見学に

秋田市立御所野学院中学校2年生3人(成田紗織、長澤和佳、渡部美香さん)が、「郷土総合学習」の一環として、保育施設の役割を調べるために、3月13日に「こどもの城」保育研究開発部を訪れました。

事前に資料や質問事項をやりとりして準備をすませ、当日はスタッフの説明を聞いたのち、保育中の子どもたちの様子も見学しました。

「自分が幼稚園のときは、1人で積み木なんかで遊んでいただけ」「みんな楽しそう」「こういうところもあるんだ、と思った」など、感想を述べていました。

14日には小浜市立第2中学校(福井県)の2年生14人が、総合児童センターである「こどもの城」の見学に訪れました。

子ども大人も楽しめる<60分コンサート>

## サントリーホール「こどもの日」コンサート

5/5(土) サントリーホール 大ホール

[2回公演]

① 11:00開演 (10:00開場 12:15終演予定)

② 14:00開演 (13:00開場 15:15終演予定)

1.ドヴォルザーク:スラヴ舞曲第1番

2.ヘンデル:オルガン協奏曲第6番から

3.デュカス:交響詩「魔法使いの弟子」(スターダンサーズ・バレエ団 振付:鈴木 稜) みんながオーケストラ

♪ 4.フランス民謡/南 安城編曲:キラキラ星

♪ 5.芥川也寸志:ドレミファソラシド!

6.ホルスト:組曲「惑星」から「木星」

☆ 楽器紹介と音楽しつもんコーナー

楽器たんけんコーナー (開演前/小ホールにて開催)

指揮:おはなし:梅田俊明 オルガン:藤枝照久  
バレエ:スターダンサーズ・バレエ団  
オーケストラ:日本フィルハーモニー交響楽団  
司会:大和田りつこ 構成:海野洋司

オーケストラといっしょになる日。

※4歳から入場できます。年齢にかかわらず、チケットは1人1枚ご用意ください。

サントリーホール・チケットセンター 03-3584-9999

こんな学習塾があったら・・・

## 能力開発研究所 NASA

What is this? Vol.2

これは何?

ナマスじゃないけどヒゲがある。

寿命は100年以上?

くわしくはホームページを見てね。

<http://www.nk-nasa.com>

電話によるお問合せ:平日15:00～20:00(火・日曜休) 土曜13:00～18:00  
Tel: 03-5393-3348

青山劇場

●NANTA～COOKIN' BEATS～ JAPAN TOUR 2001  
4月10～22日マS席=7,500円、A席=6,800円、ジーンズシート=5,500円

●明治生命ミュージカル「アニー」  
4月28日～5月20日マS席=7,800円、A席=5,800円(5月9・16日の昼公演のみS席=5,800円、A席=4,800円)3歳以下入場不可、4歳以上チケットが必要

●演出=15日:さねよし子、16日:高泉淳子

●村上「ボンタ」秀一のデュオな夜  
4月17～19日マ4,500円(当日5,000円)

●出演=17日:真矢、18日:仲井戸麗市、19日:吉田美奈子

●国府弘子のメロディアスな夜「ピアノ・タベスティー」コンサート  
4月13～14日マ5,000円(当日5,500円)

●中西俊博のメロディアスな夜  
4月15日マ5,000円(当日5,500円)

●コメディアン・デラルテ「フラミニアの誘いあるいは恋はルナティック」  
4月22日～27日マ3,500円

●お問い合わせは、青山劇場予約センター【☎03-3797-1400】へ。

青山円形劇場

●遊「機械」全自動シアター「食卓の下で」  
4月7～26日マ5,000円(作=高泉淳子、演出=白井晃)

●船橋新2001  
4月27日～5月1日マ4,200円

●アキコ・カンダとダンスカンパニー「明日も空はある」  
4月10～13日マ4,000円

●音楽の玉手箱2001  
●佐山雅弘のデュオな夜  
4月15・16日マ4,000円(当日4,500円)